

東京リデザイン・ワークショップ

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2024年06月21日 ～2024年06月29日	日本	シンガポール国立大学	建築学科、建築学専攻 学部1～4年生、 修士1～2年生	(芝浦工業大学) 学生7名、 学生バイト1名、 教員1名 (シンガポール国立大学) 学生15名、 教員2名 (東京理科大学) 学生44名、 教員1名	岡崎 環美(建築学科)

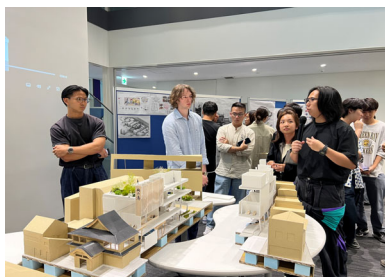


集合写真

2024年6月20日から30日にかけて、芝浦工業大学、シンガポール国立大学、東京理科大学の3大学合同で国際ワークショップが開催された。かつて都内には数多くの銭湯が存在していたが、現在では1968年のピーク時と比べて約5分の1にまで減少している。そこで、本ワークショップでは、減少しつつある銭湯文化に焦点を当て、新たな銭湯施設の設計課題に取り組んだ。学生は各大学混合の6グループに分かれ、足立区と墨田区にある銭湯を対象にグループワークを行い、最終日には成果発表を実施した。期間中には、各大学の教員やゲスト講師によるレクチャーも行われ、専門的な学びを深める貴重な機会となった。



中間発表



最終発表



銭湯見学